

令和7年度職員採用試験（大学卒業程度）  
水産 専門記述試験

次の2つの課題のうち、いずれか1つの課題について答えなさい。

= 課題 1 =

○広島県の水産業が魅力ある産業となるための取組について

広島県の海面漁業では、専門家から資源の再生産を上回る「漁獲」、魚の住みかとなる「環境の変化」、栄養塩の低下による「魚のエサ不足」が複合して水産資源が減少していると指摘されているところです。

また、広島県を代表するかき養殖では、温暖化の影響による海水温の上昇に伴い、産卵期間が長期化することで、産卵後の大量へい死や身入りの遅れが生じています。このかきのへい死は、出荷の際に発生するかき殻の増加につながることから、かき殻の堆積場が飽和状態となり、出荷に影響が出るなど増加分も含め、かき殻の新たな利活用が課題となっているところです。

以上のような背景もあり、漁業経営は厳しさを増しており、漁業経営体は年々減少しています。

併せて、漁業者の減少や高齢化の進行もあり、近い将来、水産物供給の基盤となる漁業集落の維持が難しくなることが予想されています。

このような中、本県水産業を魅力的で持続可能な産業にするために、広島県として行うべき取組とその効果、また、取組を進める上での課題について、下記のキーワードを参考に（用いても用いなくても構いません。）あなたの意見を述べなさい。

キーワード

魚価、収益性、デジタル技術、担い手、労働環境、兼業、新規漁業就業者、無給餌、養殖、漁獲規制、資源管理、豊かな海、藻場・干潟、魚礁、底質、海底耕うん、栄養塩類、里海、魚食普及、瀬戸内さかな、こだわり漁師、ブランド化、飲食店、市場、競り、観光客、海業、循環、炭酸カルシウム、温室効果ガス、低炭素社会

（次頁あり）

＝ 課 題 2 ＝

○「瀬戸内さかな」のブランド価値の向上につながる漁業取締について

本県海域は、干満差が大きく潮流が複雑で、島々や岩礁域も多く、藻場や干潟に加え、かき養殖筏などの養殖施設も設置されているなど特異的な環境であるため、水温も季節によって大きく変わり、この影響を受けて、四季折々に多種多様な魚が育つことから、これら多彩な旬の魚を、広島県では、「瀬戸内さかな」としてブランド化を図っています。

特に、餌が豊富で良型の魚が獲れる漁場で、魚に負担のかからない漁法により採捕した魚を、鮮度のいい状態で出荷できるよう取り扱うなど、「漁場」、「漁法」、「取扱い」にこだわりを持って、最高の状態で「瀬戸内さかな」を出荷する漁業者を「こだわり漁師」と位置づけ、魚ではなく人に焦点を当てた、新たなブランド化の取組も進めているところです。

一方で、違法操業により漁獲した魚が市場に流通し、このような魚が増えてくると、価格低下を招くなど、ブランド価値が損なわれることにつながることから、取締りを行う必要があります。

なお、取締りを行うにあたっては、限られた予算や人員を活用して、効果的に漁業取締船を運航することが求められています。

このような中、どのような漁業取締をしていくことが、ブランド化の取組を推進することになるか意見を述べなさい。

【本県の漁業取締船の主要目ほか】

- ① 船体 アルミニウム合金製 ステップ船首付きディープVオメガ型  
全長：20.71m 幅：4.60m 深さ：2.26m 喫水：0.94m 総トン数：29トン
- ② 主機関 単動4サイクル直接噴射式ディーゼル機関 2基
- ③ 推進機 LC型5翼固定ピッチプロペラ
- ④ 航海機器 2舵連動型操舵装置、GPSコンパス、磁気コンパス、多機能レーダー、DGPS航法装置
- ⑤ 性能 航海速力 35ノット以上
- ⑥ 船種 第4種船
- ⑦ 航行区域 平水区域
- ⑧ 乗組員 船長を含み5人